平成23年8月期　第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年 7月 8日

上 場 会 社 名　株式会社アルファ　　上場取引所　大
コ ー ド 番 号　4760　　ＵＲＬ　http://www.popalpha.co.jp/
代　　表　　者　(役職名)　代表取締役社長　　(氏名)　浅野　薫
問合せ先責任者　(役職名)　取締役執行役員財務部長　　(氏名)　佐藤　靖夫　　(TEL)086(277)4511
四半期報告書提出予定日　平成23年 7月13日　　配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：有・無
四半期決算説明会開催の有無　：有・無（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1．平成23年8月期第3四半期の業績（平成22年 9月 1日～平成23年 5月31日）

（1）経営成績（累計）　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年 8月期第3四半期	5,170	△5.3	60	△56.0	49	△59.8	7	△86.5
22年 8月期第3四半期	5,457	△9.9	138	△12.1	123	△16.6	55	△28.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年 8月期第3四半期	0.94	―
22年 8月期第3四半期	6.94	―

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年 8月期第3四半期	4,258	2,204	51.8	273.83
22年 8月期	4,416	2,228	50.4	276.73

(参考)自己資本　23年8月期第3四半期　2,204百万円　　22年8月期　2,228百万円

2．配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年 8月期	―	0.00	―	5.00	5.00
23年 8月期	―	0.00	―		
23年 8月期(予想)				7.00	7.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無　：有・無

3．平成23年8月期の業績予想（平成22年 9月 1日～平成23年 8月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,800	△4.4	40	△56.8	30	△62.3	5	△81.7	0.62

(注)当四半期における業績予想の修正有無　：有・無

４．その他　（詳細は、【添付資料】P. ３「２．その他の情報」をご覧ください。）

（１）簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用　：[有]・無

（注）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

（２）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①　会計基準等の改正に伴う変更　：[有]・無

②　①以外の変更　：有・[無]

（注）「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年8月期3Q	9,154,442株	22年8月期	9,154,442株
②　期末自己株式数	23年8月期3Q	1,102,947株	22年8月期	1,102,947株
③　期中平均株式数(四半期累計)	23年8月期3Q	8,051,495株	22年8月期3Q	8,067,708株

（注意事項）

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）３ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期の業績等に関する定性的情報 …… ２
（１）経営成績に関する定性的情報 …… ２
（２）財政状態に関する定性的情報 …… ２
（３）業績予想に関する定性的情報 …… ３
２．その他の情報 …… ３
（１）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 …… ３
（２）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 …… ３
３．四半期財務諸表 …… ４
（１）四半期貸借対照表 …… ４
（２）四半期損益計算書 …… ６
（３）四半期キャッシュ・フロー計算書 …… ７
（４）継続企業の前提に関する注記 …… ８
（５）セグメント情報 …… ８
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… ８
４．補足情報 …… ８
生産、受注及び販売の状況 …… ８

１．当四半期の業績等に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第３四半期累計期間におけるわが国経済は、個人消費の足踏み状態が続く中、高水準な失業率や円高傾向、原油価格の高騰など、依然として厳しい状況で推移しました。さらに平成23年３月11日に発生した東日本大震災の影響が景気にも強く懸念される状況となりました。

このような環境の中で、当社は消費者向け販促キャンペーンの受注強化策の実践等、売上の拡大に努めておりましたが、平成23年３月11日に発生した東日本大震災により環境が一転し、直接的な物損被害はなかったものの、震災発生後、関東・東北圏での売上激減はもとより、全国的な販促自粛ムードの広がりや生産の停滞によるイベント並びに販促キャンペーンの中止や延期が発生し、震災後の売上高は大幅に落ち込みました。

自社企画製品は、顧客の利便性向上を図るオンラインショップ（自社企画製品を中心にＷＥＢにて受注）の利用者の増加により、徐々に受注の拡大効果が表れてきていますが、生活必需品中心の中小スーパー等小売店の販売不振もあり、当第３四半期累計期間の売上高は882百万円（前年同四半期比5.8％減）となりました。

別注製品は、消費者向け販促キャンペーンの受注強化を梃とした企画提案強化や、製品製作に関連する企画料・デザイン料の強化策が奏功し、当第２四半期までは概ね堅調に推移しておりましたが、震災後の販促キャンペーン需要の急激な落ち込みなどにより、当第３四半期累計期間の売上高は2,892百万円（前年同四半期比3.6％減）となりました。

商品は、広告代理店等からの受注減少や、震災の影響によるイベントの中止等により、当第３四半期累計期間の売上高は1,395百万円（前年同四半期比8.1％減）となりました。

以上の結果、当第３四半期累計期間の売上高は5,170百万円（前年同四半期比5.3％減）となりました。

一方、当第３四半期累計期間の損益面では、採算重視による売上総利益率の改善が寄与したものの、販売費及び一般管理費が増加し、営業利益は60百万円（前年同四半期比56.0％減）、経常利益は投資有価証券評価損の発生もあり49百万円（前年同四半期比59.8％減）、四半期純利益は過年度法人税等の発生もあり７百万円（前年同四半期比86.5％減）となりました。

なお、当社は広告等販売促進用品の企画・製作及び販売等を行う事業の単一セグメントのため、セグメント情報の記載を省略しております。

（２）財政状態に関する定性的情報

当第３四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ158百万円減少し4,258百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金が44百万円増加したこと、受取手形及び売掛金が198百万円減少したこと、その他流動資産が15百万円減少したこと等により、前事業年度末比181百万円減少の2,409百万円となりました。

固定資産は、有形固定資産が７百万円減少したこと、無形固定資産が０百万円増加したこと、投資その他の資産が29百万円増加したことにより、前事業年度末比22百万円増加の1,848百万円となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金が134百万円減少したこと、短期借入金が100百万円増加したこと、賞与引当金が63百万円減少したこと、その他流動負債が57百万円増加したこと等により、前事業年度末比79百万円減少の1,471百万円となりました。

固定負債は、長期借入金が78百万円減少したこと、役員退職慰労引当金が10百万円増加したこと、その他固定負債が12百万円増加したこと等により、前事業年度末比55百万円減少の582百万円となりました。

純資産は、前事業年度末比23百万円減少の2,204百万円となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第３四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前事業年度末より154百万円増加し、当第３四半期会計期間末の残高は342百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第３四半期累計期間において、営業活動の結果得られた資金は103百万円（前年同四半期比137百万円減）となりました。これは、税引前四半期純利益49百万円を獲得したこと、賞与引当金の減少額63百万円、売上債権の減少額198百万円及び仕入債務の減少額134百万円があったこと等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第３四半期累計期間において、投資活動の結果得られた資金は73百万円（前年同四半期比44百万円増）となりました。これは、定期預金の減少額110百万円及び関係会社株式の取得による支出20百万円があったこと等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第３四半期累計期間において、財務活動の結果使用した資金は22百万円（前年同四半期比168百万円減）となりました。これは、短期借入金の純増加額100百万円、長期借入金の返済による支出78百万円及び配当金の支払額40百万円があったこと等によるものです。

（３）業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、最近の業績の動向も踏まえ、平成22年10月８日に発表した通期の業績予想数値を変更しております。

なお、詳しくは平成23年７月８日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．その他の情報

（１）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

記載すべき重要な事項はありません。

②四半期財務諸表作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

（２）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

第１四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号　平成20年３月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号　平成20年３月31日）を適用しております。

これによる影響はありません。

３．四半期財務諸表
（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	当第３四半期会計期間末 （平成23年５月31日）	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 （平成22年８月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	795,733	751,424
受取手形及び売掛金	980,762	1,179,065
商品及び製品	486,208	493,697
仕掛品	24,738	28,803
原材料及び貯蔵品	5,221	5,218
その他	124,230	139,499
貸倒引当金	△7,500	△6,850
流動資産合計	2,409,396	2,590,858
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	262,284	277,872
土地	934,336	934,336
その他（純額）	29,749	21,561
有形固定資産合計	1,226,370	1,233,769
無形固定資産	28,656	28,048
投資その他の資産		
その他	595,625	565,907
貸倒引当金	△1,762	△1,804
投資その他の資産合計	593,863	564,103
固定資産合計	1,848,890	1,825,921
資産合計	4,258,286	4,416,780
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	834,454	969,370
短期借入金	200,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	104,992	104,976
未払法人税等	6,291	44,900
賞与引当金	12,200	75,900
その他	313,333	255,618
流動負債合計	1,471,271	1,550,765
固定負債		
長期借入金	131,736	210,484
退職給付引当金	43,375	43,681
役員退職慰労引当金	385,070	374,296
その他	22,128	9,460
固定負債合計	582,310	637,922
負債合計	2,053,582	2,188,687

（単位：千円）

	当第３四半期会計期間末 （平成23年５月31日）	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 （平成22年８月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	409,796	409,796
資本剰余金	417,733	417,733
利益剰余金	1,639,500	1,672,175
自己株式	△262,457	△262,457
株主資本合計	2,204,572	2,237,247
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	131	△9,155
評価・換算差額等合計	131	△9,155
純資産合計	2,204,704	2,228,092
負債純資産合計	4,258,286	4,416,780

（２）四半期損益計算書
（第３四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期累計期間 （自　平成21年９月１日 至　平成22年５月31日）	当第３四半期累計期間 （自　平成22年９月１日 至　平成23年５月31日）
売上高	5,457,674	5,170,518
売上原価	3,441,120	3,192,061
売上総利益	2,016,553	1,978,456
販売費及び一般管理費	1,878,365	1,917,588
営業利益	138,188	60,867
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,660	2,780
助成金収入	1,920	1,858
その他	2,966	2,189
営業外収益合計	7,547	6,827
営業外費用		
支払利息	6,157	4,088
為替差損	587	389
投資有価証券評価損	15,356	13,383
その他	78	215
営業外費用合計	22,179	18,077
経常利益	123,556	49,618
特別利益		
固定資産売却益	773	－
特別利益合計	773	－
特別損失		
固定資産売却損	265	－
固定資産除却損	197	61
特別損失合計	463	61
税引前四半期純利益	123,866	49,556
法人税、住民税及び事業税	59,359	22,868
過年度法人税等	－	6,862
法人税等調整額	8,542	12,243
法人税等合計	67,901	41,974
四半期純利益	55,964	7,582

（３）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第３四半期累計期間 （自　平成21年９月１日 至　平成22年５月31日）	当第３四半期累計期間 （自　平成22年９月１日 至　平成23年５月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	123,866	49,556
減価償却費	24,493	26,720
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△33	608
賞与引当金の増減額（△は減少）	△87,600	△63,700
退職給付引当金の増減額（△は減少）	13,358	△305
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△8,923	10,773
受取利息及び受取配当金	△2,660	△2,780
支払利息	6,157	4,088
投資有価証券評価損益（△は益）	15,356	13,383
固定資産売却損益（△は益）	△508	－
固定資産除却損	197	61
売上債権の増減額（△は増加）	187,024	198,345
たな卸資産の増減額（△は増加）	11,080	11,550
仕入債務の増減額（△は減少）	△89,833	△134,916
その他の資産の増減額（△は増加）	20,253	△2,972
その他の負債の増減額（△は減少）	67,940	65,302
その他	447	396
小計	280,618	176,111
利息及び配当金の受取額	3,081	2,268
利息の支払額	△6,153	△4,044
法人税等の支払額	△36,688	△70,783
営業活動によるキャッシュ・フロー	240,857	103,552
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額（△は増加）	38,059	110,012
有形固定資産の取得による支出	△9,547	△4,949
有形固定資産の売却による収入	3,095	－
投資有価証券の取得による支出	△1,347	△1,292
関係会社株式の取得による支出	－	△20,000
関係会社出資金の払込による支出	△5,474	－
長期貸付金の回収による収入	900	900
従業員に対する長期貸付けによる支出	－	△2,500
従業員に対する長期貸付金の回収による収入	2,036	1,023
その他	1,443	△9,221
投資活動によるキャッシュ・フロー	29,165	73,971
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△20,000	100,000
リース債務の返済による支出	△2,093	△3,606
長期借入金の返済による支出	△107,262	△78,732
自己株式の取得による支出	△5,578	－
配当金の支払額	△56,821	△40,467
財務活動によるキャッシュ・フロー	△191,755	△22,806
現金及び現金同等物に係る換算差額	△447	△396
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	77,820	154,321
現金及び現金同等物の期首残高	324,072	187,927
現金及び現金同等物の四半期末残高	401,892	342,249

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報

当社は広告等販売促進用品の企画・製作及び販売等を行う事業の単一セグメントのため、記載を省略しております。

（追加情報）

第１四半期会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号　平成21年３月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号　平成20年３月21日）を適用しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

４．補足情報

生産、受注及び販売の状況

（１）生産実績

当第３四半期累計期間の生産実績を単一セグメント内の製品別に示すと次のとおりであります。

単一セグメント内製品区分	当第３四半期累計期間 （自　平成22年９月１日 至　平成23年５月31日） 金額（千円）	前年同四半期比 （%）
製品		
自社企画		
ポスター類	192,898	84.7
のぼり、幕類	102,347	84.4
ポリエチレン類、その他のプラスチック製品	444,835	101.5
その他	112,249	108.8
自社企画製品計	852,331	95.7
別注		
ポスター類	879,933	91.1
のぼり、幕類	619,998	101.7
ポリエチレン類、その他のプラスチック製品	683,399	89.2
その他	707,533	106.0
別注製品計	2,890,865	96.1
合計	3,743,196	96.0

（注）　上記の金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

（２）商品仕入実績

当第３四半期累計期間の商品仕入実績を単一セグメント内の商品別に示すと次のとおりであります。

単一セグメント内商品区分	当第３四半期累計期間 （自　平成22年９月１日 至　平成23年５月31日）	前年同四半期比
	金額（千円）	（%）
包装紙、紙袋類	96,909	81.9
のぼり、幕類	53,799	99.4
造花、スチロールボード類	663,765	93.1
その他	257,822	86.1
合計	1,072,297	90.5

（注）　上記の金額は仕入価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

（３）受注状況

自社企画製品につきましては見込み生産のため、該当事項はありません。

別注製品につきましては、受注から売上計上までが短期間であり、販売実績とほぼ一致すること及び受注残高も寡少であることにより記載しておりません。

（４）販売実績

１）品目別売上高

当第３四半期累計期間の販売実績を単一セグメント内の製・商品別に示すと次のとおりであります。

単一セグメント内製・商品区分	当第３四半期累計期間 （自　平成22年９月１日 至　平成23年５月31日）	前年同四半期比
	金額（千円）	（%）
製品		
自社企画		
ポスター類	201,599	91.1
のぼり、幕類	104,794	84.2
ポリエチレン類、その他のプラスチック製品	466,001	96.6
その他	109,757	101.5
自社企画製品計	882,153	94.2
別注		
ポスター類	869,721	89.9
のぼり、幕類	629,717	102.0
ポリエチレン類、その他のプラスチック製品	684,462	90.8
その他	708,599	106.9
別注製品計	2,892,502	96.4
製品計	3,774,655	95.8
商品		
包装紙、紙袋類	129,214	85.1
のぼり、幕類	69,280	93.6
造花、スチロールボード類	916,218	96.6
その他	281,149	81.4
商品計	1,395,862	91.9
合計	5,170,518	94.7

（注）　上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

２）地域別売上高

当第３四半期累計期間の販売実績を単一セグメント内の地域別に示すと次のとおりであります。

単一セグメント内地域区分	当第３四半期累計期間 （自　平成22年９月１日 至　平成23年５月31日）	前年同四半期比
	金額（千円）	（%）
北海道・東北地区	272,468	82.1
関東地区	2,388,940	93.9
甲信越・北陸地区	200,826	85.7
東海地区	651,095	99.9
近畿地区	764,119	95.7
中国・四国地区	507,138	97.9
九州・沖縄地区	385,928	101.9
合計	5,170,518	94.7

（注）１．上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

２．上記の区分は、当社販売先の住所によっております。

３）業種別売上高

当第３四半期累計期間の販売実績を単一セグメント内の業種別に示すと次のとおりであります。

単一セグメント内業種区分	当第３四半期累計期間 （自　平成22年９月１日 至　平成23年５月31日）	前年同四半期比
	金額（千円）	（%）
製造業	1,036,756	108.5
卸売業	634,008	98.1
小売業	2,136,324	96.1
飲食業	97,143	111.2
サービス業	1,092,891	79.4
その他	173,394	103.6
合計	5,170,518	94.7

（注）　上記の金額には、消費税等は含まれておりません。